
岐阜県立可児高等学校

学 校 長 水口 猛
学 校 住 所 岐阜県可児市坂戸987の2 電話 0574-62-1000

1 会議の名称 岐阜県立可児高等学校 学校評議員会（第1回）

2 会議の構成 委 員 大野 裕司 (元美濃加茂西中学校長)
桂川 直人 (岐阜県農業大学校長)
松井 慶子 (元本校PTA役員)
松尾 和樹 (NPO 縁塾代表)
若尾 裕史 (坂戸地区自治会長)

学 校 側 水口 猛 校長
井藤 勝夫 教頭
岩田 肇 事務長
金本 淳 教務主任
岩島 章雄 生徒指導主事
田内 俊文 進路指導主事
片山 大輔 教務部・記録係

3 会議の目的 学校運営について、保護者や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 令和元年7月8日(月) 14:30～16:30 可児高等学校校長室
学校評議員5人と学校側7人が出席

5 会議の概要

- (1) 学校長挨拶
- (2) 授業参観・校内見学
- (3) 学校評議員様ご挨拶（自己紹介）並びに本校職員自己紹介
- (4) 議題

ア 令和元年度可児高等学校の教育方針と指導の重点について
・可児高等学校マニフェスト
・可児高教育を具現化する数値目標

イ 各分掌より

① 進路指導部

- ・学力向上への取組と進路意識を高める取組
- ・第34期生～第37期生学校別合格者数の推移

② 生徒指導部

- ・こころに響く 生徒指導

③ その他

ウ ご提言・ご感想等

エ その他

6 ご提言・ご感想等

(1) 進路指導について

意見 1 ICTを活用されている先生が多く、わかりやすい授業が展開されていると思った。
意見 2 TOEICが大学入学共通テストの候補から外れましたが、本校への影響はありますか。
回答 ありません。本校ではほとんどの生徒が実用英語技能検定、もしくはGTECを受験する予定です。

- 意見 3 定員割れにより学力低下が見られるという課題があるのなら、逆に定員を割れさせないようにする施策や工夫があると思う。その1つが校外活動（エンリッチ等）で、積極的に広報をして魅力を伝えていくとよい。興味関心をもたせて地域からも育てていくスタイルで応援したいと思います。

(2) 生徒指導について

- 意見 1 以前うかがった不登校の生徒の人数に変化はありましたか。
回答 減っています。各学年による特徴が大きいかもしれません。ただし、転学・退学者は含んでいません。学力や意識も含め生徒の多様化が見られ、課題等の対応を今まで以上にサポートしていこうと考えているところです。
- 意見 2 7日以上欠席した生徒がこの地区周辺で約200名（中学校）います。おとなしく穏やかという傾向が強くなっていると思います。「志」を育てることが重要だと思います。
- 意見 3 注意しすぎても事故が起こるときは起きるので、安全・安心をキーワードに毎日歩む必要がある。
- 意見 4 先生との信頼関係が築かれているので、スマホを使って授業ができていると思っています。
- 意見 5 リーダー性のある生徒が増えていると思います。
- 意見 6 多様な生徒に対し柔軟に学年ごとに対応されていると思います。
- 意見 7 坂戸地区では、体調が悪くなった生徒が、学校に戻るのが難しい場合どの家に声をかけていただいても休むことができるよう自治会にお願いしていきます。また、地元公民館も監督教員がいて、その教員から連絡があれば、使っていただいてもけっこうです。

(3) その他

- 意見 1 働き方改革の中で多くの試みがされていてすばらしいと思います。
- 意見 2 部活（特にアーチェリー部）、エンリッチ等で活躍している「光っている子」を随所で示すことが輝く子に引っ張られていくエネルギーを育てるのではないかと思います。

6 会議のまとめ

先生方がそれぞれ個性を生かし、元気にエネルギーに満ち溢れた授業を展開されているのが印象的との意見を多くいただきました。また働き方改革が進む中でも、学習や進路の指導、生徒指導などの取り組みについて評議員のどなたからも好意的で高い評価をいただいた。さまざまな取り組みを継続・改善しつつ、さらに高い評価をいただけるよう努力を続けたい。

地域連携活動（オープンエンリッチ等）や学校行事を通して、様々な場면을体験させることから自分が輝ける場所をみつけられるような運営を考える必要がある。その取組がきっかけで勉学に前向きに励むことができ、学力向上を多くの生徒が実現できれば、定員割れの状況が改善される可能性もあることが指摘されたので、実情に合わせながら取組・改善を図りたい。